



2022年2月22日
永田町子ども未来会議

世田谷区 医療的ケア相談支援センター Hi・na・ta



世田谷区医療的ケア相談支援センター
管理者兼事業マネージャー 等々力 寿純



世田谷区の人口など



◆総人口 920,471人

(令和3年4月1日)

うち外国人 21,840人

世帯数 491,879世帯

面積 58.08km²

◆障害者数 39,005人

(手帳所持者と難病認定者数)

身体障害者 19,231人

知的障害者 4,292人

精神障害者 6,715人

難病認定者 8,767人

(令和2年4月1日)

0～17歳は612人で
全体の3.2%

「医療的ケアを要する障害児・者等に関する実態調査報告書」・世田谷区
(平成27年4月1日現在) 0歳から17歳の医療的ケア児数 127人

世田谷区の医療的ケア児数 (令和3年4月)

母子保健活動により把握している人数と特別支援学校等に通う生徒数をあわせて180人





在宅の医療的ケア児の状況

☆平成26年11月に区と社会福祉法人が共同で実施した
「医療的ケアを要する障害児・者等に関する実態調査報告書」から浮彫になった課題

- ・相談先の不明確さ
- ・社会資源側の不安・悩み
- ・医療的ケアに関する相談支援専門員の質の向上
- ・災害時の備え
- ・本人・家族のネットワークづくり
- ・社会全体への普及啓発



世田谷区医療的ケア相談支援センターの創設



世田谷区医療的ケア相談支援センター概要



名称：世田谷区医療的ケア相談支援センター
愛称：Hi・na・ta（ひなた）

電話：03-3749-6955

住所：〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18

大蔵二丁目複合型子ども支援センター3階

運営日時：平日の月～金曜日 午前8時30分～午後5時
(Hi・na・taの開所は当面火・木曜日)

委託元：世田谷区

委託先：社会福祉法人

全国重症心身障害児(者)を守る会





世田谷区医療的ケア相談支援センター -組織図-

運営委員会

- 学識経験者
- 医師
- 訪問看護ステーション
- 事務局（区）

医療的ケア相談支援センター

センター長

管理者

広報担当

センター事業
マネージャー

※現在、管理者が
業務マネージャーを
兼務

※現在、センター長が
広報担当を兼務

相談員

保健師



世田谷区医療的ケア相談支援センター事業



医療的ケアに関する専門相談支援



在宅生活支援プラン作成



施設への技術支援



相談支援専門員の人材育成・研修



災害時個別支援計画作成支援



医療的ケアの理解促進・情報発信



権利擁護



世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta事業実施状況

令和3年8月から令和4年1月まで



1. 全体件数

	件数
延べ合計数	139
うち新規 (相談者実数)	89

2. 相談者

1	本人	7
2	家族(保護者)	64
3	家族(きょうだい)	2
4	家族(その他)	1
5	関係機関	64
6	その他	1
7	不明・未把握	0
	合計	139

3. 本人年齢区分

		件数
1	0歳	14
2	1歳	32
3	2歳	15
4	3歳	7
5	4歳	7
6	5歳	8
7	6歳	14
8	小学生(7~12歳)	3
9	中学生(13歳~15歳)	5
10	高校生(16歳~18歳)	2
11	19歳以上	7
12	不明・未把握	25
	合計	139

4. 相談方法

		件数
1	訪問	6
2	来所	40
3	同行	1
4	電話	70
5	電子メール	16
6	個別支援会議	2
7	その他	4
	合計	139

5. 住所地

		件数
1	区内	97
2	区外(都内)	15
3	区外(都外)	15
4	不明・未把握	12
	合計	139

世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta事業実施状況

令和3年8月から令和4年1月まで



6. 主な相談・支援内容

- ・ 保育、教育に関する相談・支援
- ・ 家族の不安解消に関する相談・支援
- ・ Hi・na・taの事業内容についての相談・問い合わせ
- ・ 医療的ケア児者に対する支援連携に関する相談・支援
- ・ 福祉サービス、医療サービスの利用・調整等に関する相談・支援
- ・ 在宅生活・退院に向けた相談・支援（初めての在宅生活・退院/初めて以外）
- ・ 障害や症状の理解・受容に関する相談・支援
- ・ 就労に関する相談・支援

7. 視察・見学など（web含む）

- ・ 医療的ケア児支援関係機関（区内外）
- ・ 都内各区市町村障害保健福祉関係主管、各区市町村議員
- ・ 研修会、勉強会などにてHi・na・taについての紹介、事業説明など（全国）





Hi・na・ta(ひなた) が目指すもの

医療的ケアについて
なんでも相談できる窓口として
困りごとや日々の思いを
気軽に話せる場として



ひとときゆっくり
ほっとできる場として
訪れる人をあたたかく包み
込むような場所

医療的ケアが必要な子どもと家族、また彼らを支える支援者などからの声にしっかり耳を傾ける。その中で現状把握に努め、対応・改善が必要なことなどは、行政および支援関係機関などに提言するとともに、協力しながら、医療的ケアが必要な子どもとその家族を支える全体的な体制構築を目指していく。